

卒業論文

タイトル

XX-XXXXXX 東大太郎

指導教員 東大花子 教授

2024 年 1 月

東京大学工学部計数工学科システム情報工学コース

概要

ここに概要を書く.

目次

第 1 章	序章	1
1.1	題名	1
1.2	ページについて	1
第 2 章	本文	5
2.1	数式	5
2.2	図	5
2.3	表	6
謝辞		7
参考文献		8
付録 A	付録	9
A.1	付録の中身	9

第 1 章

序章

これは計数工学科システム情報コースの卒業論文を Typst に移植したものです.

1.1 題名

```
#import "systemB.typ": *

#show: graduation_thesis.with(
  title: "タイトル",
  your_name_jp: "東大太郎",
  your_name_en: "Taro Todai",
  student_id: "XX-XXXXXX",
  mentor_name: "東大花子",
  mentor_position: "教授",
  write_year: "2024",
  write_month: "1",
  abstract: "ここに概要を書く.",
  bibliography-file: "./references.bib",
)
```

というようにファイルの先頭に書くと、卒業論文の書式が設定されます.

1.1.1 bibliography-file について

@Kingma2014 のような感じで引用すると勝手に参考文献に追加されます[1]. 私は Mendeley から使う文献をまとめて BibTeX 形式で出力して、それを指定しています. 使わない論文は表示されないなので、この方法がいいかなと思っています.

1.2 ページについて

2 第1章 序章

本家(LaTeX)版では奇数ページは右側に、偶数ページは左側にページ番号が表示されるようになっているので、それを再現しています.

例えばこんな感じで，章をまたぐ際はどこの章に属しているかがわかるようになっています．

4 第1章 序章

奇数ページの場合はどこの節に属しているかがわかるようになっています.

第 2 章

本文

章が変わるページの場合はページのみが表示されるはずです。なお、`#heading` を入れても改ページされるようにはなっていないので自分で `#pagebreak()` してください。

2.1 数式

$$\nabla \cdot B = 0 \tag{2.1}$$

式番号は章ごとにリセットされます。

2.2 図

図も挿入できます。



図 2.1: 図の説明

2.3 表

表 2.1: 表の説明は上にきます

A	B
content 1	content 2

謝辞

#chap を使うと見出しのない heading が作れます。何か不明な点や不具合があれば issue 立ててください。主に <https://zenn.dev/chantakan/articles/ed80950004d145> を参考にしました。

参考文献

- [1] D. P. Kingma and J. Ba, “Adam: A method for stochastic optimization,” arXiv preprint arXiv:1412.6980, 2014, [Online]. Available: <https://arxiv.org/abs/1412.6980>

付録 A

付録

付録は `#appendix` を使うと追加されますが, `graduation_thesis.with` の引数に `bibliography-file` を指定していると末尾に参考文献が出てきてしまうので, 手動で書く必要があります.

```
#import "systemB.typ": *

#show: graduation_thesis.with(
  ...
  bibliography-file: "", // ここを空文字列にする
)

...

#reference(bibliography-file: "./references.bib") // 明示的に指定

#appendix()[
  = 付録のタイトル
  == 付録の中身
  付録の中身です
]
```

A.1 付録の中身

このように指定すると, 付録の中身が表示されます.